

平成 23 年度 東成区予算の概要

＜東成区役所 平成 23 年度予算編成の考え方＞

（目標像）

- ・地域のことを区民・区役所等がともに考え、まちづくりに積極的に取り組む、いきいきとしたまち
- ・安心・安全で暮らしやすいまち

（区役所の使命）

- ・まちづくりに、区民が参画・協働できるよう、積極的に支援すること
- ・区役所を、市民にとって身近で、気軽に安心して利用できる、ふれあいっぱいのコミュニティスペースとすること

＜平成 23 年度予算＞

合計 229,432 千円

経営課題 1 地域主権の確立に向けた区民主体の地域運営の推進

- ・まちづくりの主役である区民が地域課題解決に向け、参画協働できるよう、人的・物的に支援する基盤をつくるとともに、活動する区民の掘り起こしや育成、ネットワーク化を推進・支援する。

事業名	地域活動協議会運営助成事業
予算額	0.6 百万円
内容	地域活動協議会の立ち上げ期及び初動期において、運営を助成するための補助金を交付する。
経過	現在、モデル 2 地域（今里・深江）において、地域活動協議会設立準備会を立ち上げ、地域住民アンケート調査など、地域活動協議会設立に向けた体制や規約等の検討中であり、補助金については、地域活動協議会発足後の申請に向けて検討することとしている。

事業名	地域活動協議会支援事業
予算額	3 百万円
内容	地域活動協議会を設立し、地域課題や課題解決に協働して取り組むとともに、地域のビジョン作成に向けて地域住民の意識調査、課題発掘につながるアンケート調査を実施する。
経過	モデル 2 地域（今里・深江）の全住民対象に、9 月にアンケート調査を実施した。 現在、アンケート集計結果の報告会を順次実施しており、アンケートから見えた地域住民の思い・課題を今後の地域ビジョン策定に活用していくこととする。

事業名	市民協働ネットワーク形成支援
予算額	0.5百万円
内容	市民協働の拠点である、ひがしなり市民協働ステーション「ふれ愛パンジー」のネットワーク形成支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。また、市民活動に取り組む地域の方の交流促進を目的に、まちづくりの専門家である有識者による学習会を開催し、市民協働のネットワーク形成を図る。
経過	市民活動の拠点としての役割を果たすべく規約を作成(24年4月施行)。利用団体の交流会・学習会を開催。また、区民との新たなネットワークを構築するため、アニメーションや音楽のイベントを企画実施。

経営課題2 市民との連携・協働によるまちづくりの推進

- ・ 地域コミュニティを核としながら、区役所が一体となって、警察署や消防署、企業・事業所、医療機関など関係機関等と連携して安心・安全なまちとなるよう地域特性に応じて支援する。
- ・ 個別の地域課題解決に向け、区民や区内の各種団体がこれまでの枠組みにとらわれず連携し、協働しながらさらに自由で活発な活動ができるよう支援する。
- ・ また、区域・市域を越えた市民間の水平連携にも取り組み、広域的な市民ネットワークの構築をめざす。

事業名	地域防災ネットワーク支援
予算額	2百万円
内容	「災害支援目録」の作成により、地域と企業のネットワーク形成を支援するとともに、医師会、消防署と連携した防災訓練を実施し、地域の連携体制を構築する。 また、区民を対象とした防災意識向上のためのフォーラム・セミナーを消防署等と連携して開催し、区民に自らの災害時の行動や住民共助の重要性について、周知・啓発を行う。
経過	災害に備え、地域と企業が防災ネットワークを築くことを支援するため災害支援目録の作成に取り組んでいる。現在区内の企業約100社から申し出がある。また、地域防災フォーラム(5回)や地域の医療機関と連携し災害時の初動・連携訓練(1回)も行っており、更に防災意識の向上のためのセミナー(2回)を行う。

事業名	東成区防犯対策事業
予算額	2 百万円
内容	自転車盗及びひったくり防止対策推進のため、警察署や地域住民と協力し、街頭犯罪防止キャンペーンを実施する。
経過	所轄警察と協働し、ひったくり防止カバーやワイヤーロックを配布するなど、街頭犯罪防止対策を推進することとともに、防犯教室や地域の「ふれあい喫茶」に参加して啓発活動を行っている。平成 23 年 10 月からは、区職員による青色防犯パトロールを開始した。

事業名	市民協働型自転車利用適正化事業「Do！プラン」
予算額	1 2 百万円
内容	放置自転車問題を「地域課題」として捉えて、区民の視点から対策やアイデア・企画の検討を進め、「ノーチャリデー」を始めとする住民参加型・市民協働型事業の取り組みを継続実施する。 また、地域住民の「有償ボランティア」による現地整理・啓発・指導を行う。
経過	平成 20 年度より 3 年間、市民協働型の放置自転車対策事業を試行し、重点駅である新深江駅及び鶴橋駅周辺を中心に地域住民と協働し放置自転車の削減に取り組んでいる。（特に新深江駅ではノーチャリデーによる地域住民の啓発などにより放置自転車問題が大幅に改善）今年度より、これらに加え、玉造駅周辺においても取り組みを実施し事業の拡充を図っている。

事業名	種から育てる地域の花づくり支援
予算額	3 百万円
内容	区民ボランティアが自ら花の種を播き、苗を育て、花づくりを行い、その花で、道路や公園、小学校などの公共施設を飾り、うるおいのある美しいまちづくりを進めていく。お年寄りや子ども達まで幅広い区民の参加を募り、まちの美化はもとより地域コミュニティやふれあい、お年寄りの健康づくりや生きがいづくりにつなげる。また、花を飾ることで、迷惑駐輪の防止などもめざす。
経過	当区では、平成 23 年 11 月大成小学校、同 12 月片江小学校に花づくり拠点を設置。花と緑のまちづくり推進委員、緑化リーダーを中心に、一般ボランティア「種花サポーター」も募集し、現在花苗育成中。今後、各校下へ花苗を出荷し、まちの緑化を推進し、幅広い区民の参加を目指す。迷惑駐輪対策については、効果を十分に検証し、維持管理面にも留意しつつ、プランター等の配置を慎重に検討する。

事業名	区地域福祉アクションプラン推進に向けた支援
予算額	2 百万円
内容	地域特性に応じた福祉のあり方を区民自らが企画・立案・実践していける場づくりを支援するため、モデル校下において地域福祉力向上ワークショップを実施する。 また、区内で様々な分野で活動を行う団体・事業者・社会福祉施設等が、協働して地域福祉を支えていく機運づくりを目指し、区全体を対象に地域福祉力向上セミナーを実施する。
経過	東中本と神路校下では、住民や事業者等によるワークショップを各 3 回開催し、地域福祉に係る状況を再確認するとともに地域課題の抽出や新たな取組みの検討を進めることが出来た。 フォーラムを 3 回開催し、地域ネットワーク委員会、医師、ケアマネージャー等多様な立場からの実践例が報告され、誰もが住みなれた地域で自分らしく安心して暮らすための議論を高めた。

事業名	未来わがまち推進会議を要とした区民主体のまちづくり活動への支援事業
予算額	2 百万円
内容	「東成区未来わがまちビジョン」の実現に向け活動する東成区未来わがまち推進会議の事業補助、勉強会での学識経験者等の派遣、区広報紙、区民まつり、わがまちフォーラム等において広報支援を行うことにより区民主体のまちづくりを進める。
経過	「環境・景観」「安全・安心」「まちの賑わい・活気」「子ども・高齢者」の 4 つをテーマに区民主体で活動。情報発信の充実のため 23 年度に広報班を新設。わがまち学校やクリスマスのつどいなど校下ごとの事業補助や区民まつり、東成歴史文化まつりに参画した。また、学習会の実施(2 回)や 3 月にはわがまちフォーラムを開催予定。

事業名	市民主体の水平連携によるまちづくり支援
予算額	5 百万円
内容	区域・市域を越えた課題解決や資源活用について、隣接する自治体の市民間の水平連携によりまちづくりに取り組み、広域的な市民ネットワークづくりを推進する。
経過	「川」「街道」「モノづくり」をテーマに市民と交流・意見交換を実施し、成果として「川」では八尾・柏原市のイベントに参画した。さらに、「街道」では東大阪市の商店街と「日本最長商店街をめざすスタンプラリー」、「モノづくり」では工場見学を実施(2 回)することで新たな市民ネットワークづくりを推進した。

経営課題3 区役所力の強化

- ・ 校区等地域における市民活動の支援を行う地域担当制を強化し、区役所の相談・調整機能を充実させる。
- ・ 区の施策に対するニーズを積極的に把握し、施策・事業等に反映させる広聴機能の充実や区民が参加できる仕組みをつくる。
- ・ 一層の効率化を進めながら、窓口サービスの充実に努めるとともに、便利で快適な区役所を目指す。

事業名	地域担当制の強化
予算額	0 円
内容	区役所と保健福祉センターが連携して、身近な行政単位である校区等地域に積極的に入り、地域情報の把握、集約を行うとともに、相談・調整機能の充実を図る。
経過	連合ごとに、課長級・係長級・地域安全防犯担当の3層で構成された体制に強化し、町会長会議・地域の盆踊り・敬老会などや地域安全対策担当職員による地域巡回を通して地域情報の把握・集約などを行うとともに、市民協働課・保健福祉課・総務課で構成された地域担当連絡会議の定期的な開催や、地域の声システムの活用などにより、区役所の相談・調整機能の向上に努めている。

事業名	区政会議の設置・運営
予算額	0. 3 百万円
内容	区民との協働型区政を実現するため、区民の意見を区政に反映し区政を評価するしくみとして 区政会議を設置する。具体には、区政運営及び区において実施される事務事業に関しての意見や評価をいただく。
経過	18 人の委員を選任し、8 月 31 日（水）午後 2 時より第 1 回目の全体会を開催し、東成区の防災について意見、評価をいただいた。また、事業仕分け地域対象（東成区）事業判定結果及び平成 23 年度東成区運営方針について報告した。いただいた意見は、今後の区政運営に反映する。平成 24 年第 2 回の全体会は 2 月 1 日に開催する。

事業名	区民モニター
予算額	1 百万円
内容	区民意見の収集方法としてモニターを募集しアンケートにお答えいただくことにより、普段行政と接点がない区民の方が気軽に意見を述べるができるようにする。また、区の運営方針などに反映する情報として活用するとともに、区における PDCA サイクルを確立する。

経過	324 人のモニターに登録いただき、7 月に第 1 回目『まちづくり活動、防災、広報』について実施し 239 人の回答を、9 月に第 2 回目『生涯学習ルーム、震災訓練』について実施し 209 人の回答を、12 月に第 3 回目『健康づくり』について実施し 208 人の回答を得た。また、1 月に第 4 回目『窓口サービス』について実施している。いただいた意見や提案は、できるところから区政運営に反映している。
----	---

事業名	便利で快適な区役所づくり
予算額	0 円
内容	事例によってプロジェクトチームを設置するなど区役所と事業所、保健福祉センターの連携を強化する。また、子育て支援センター、水道局サービスステーションを区役所内に開設し、区民の利便性の向上を図る。
経過	区内の行政連絡調整会議や事業所連絡会議のメンバーと連携し、地域の道路や公園などの問題解決にあたった。子育て支援センターについては、24 年 6 月開設予定。水道局サービスステーションについては、24 年 3 月末開設予定である。